



# 市民アンケート 分析追加資料 (区別・家族構成別)

新潟市地域・魅力創造部  
広報課

## 「市報にいがた」の閲読率および希望する発行頻度について(区別)

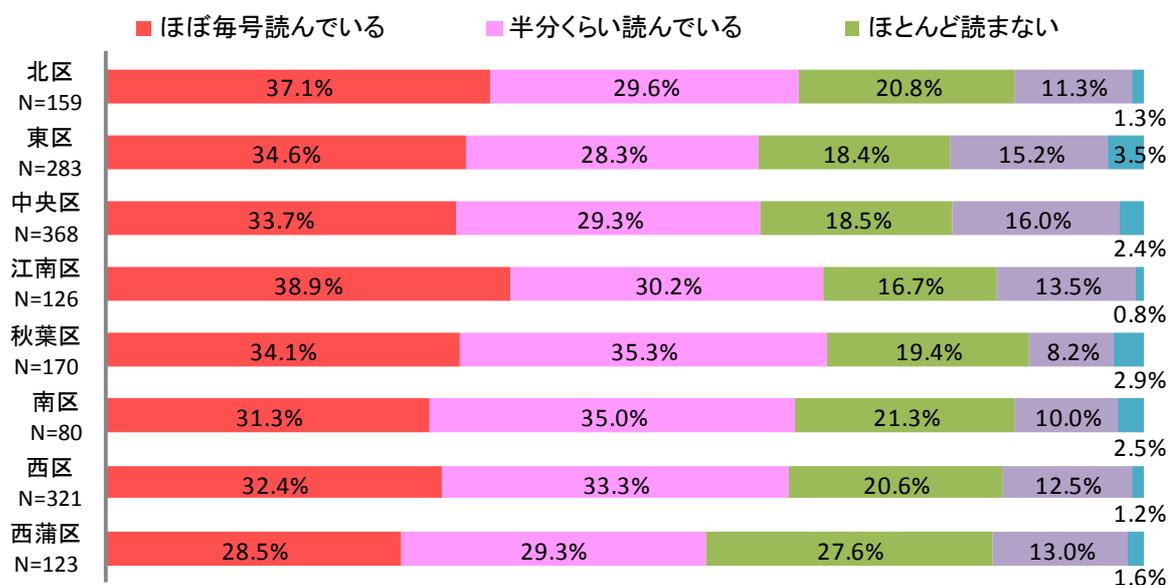
- 全ての区で半数以上の方が「ほぼ毎号読んでいる」「半分くらい読んでいます」ことが分かりました。また、希望する発行頻度については、「毎月2回」「毎月1回」で発行することが適当であると思う方が、どの区でも5割を超えていました。  
読んでいる方の割合が一番多い秋葉区が、適当だと思いう発行頻度「毎週」が少ないなど、発行頻度にこだわっていないことが分かりました。

### データ1

#### 「市報にいがた」の閲読率

#### 設問

【問8】「市報にいがた」・「区役所だより」を読んでいますか。(○は1つだけ)

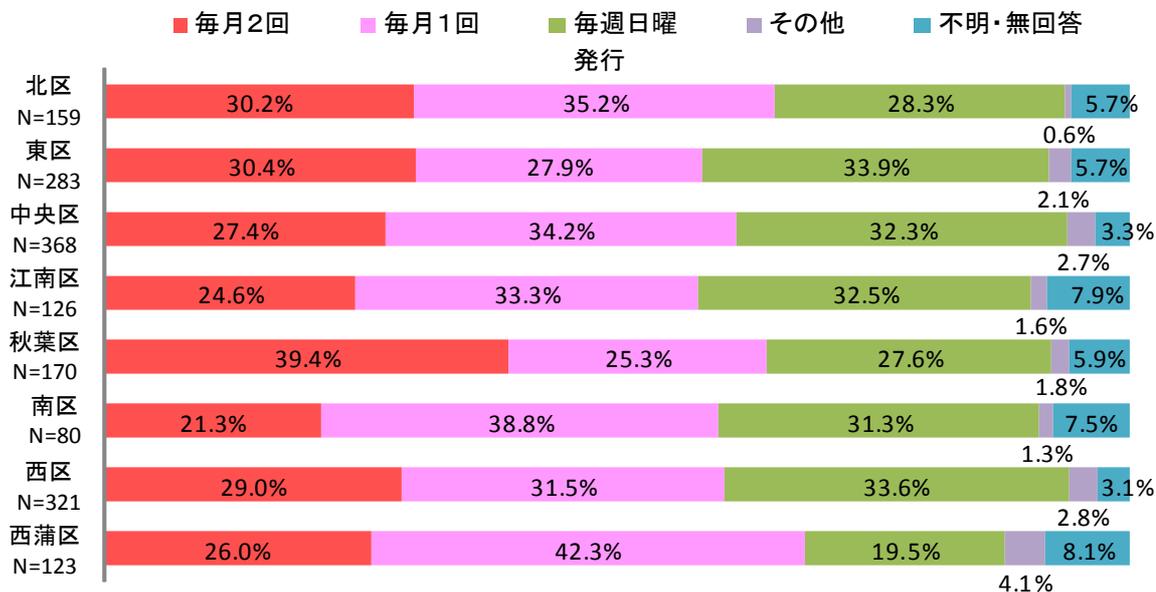


### データ2

#### 希望する「市報にいがた」の発行頻度

#### 設問

【問23】「市報にいがた」・「区役所だより」は、どの回数で発行することが適当だと思いますか。それぞれ番号を1つ選んで○をつけてください。



## 「市報にいがた」を読んでいますか？（家族構成別）

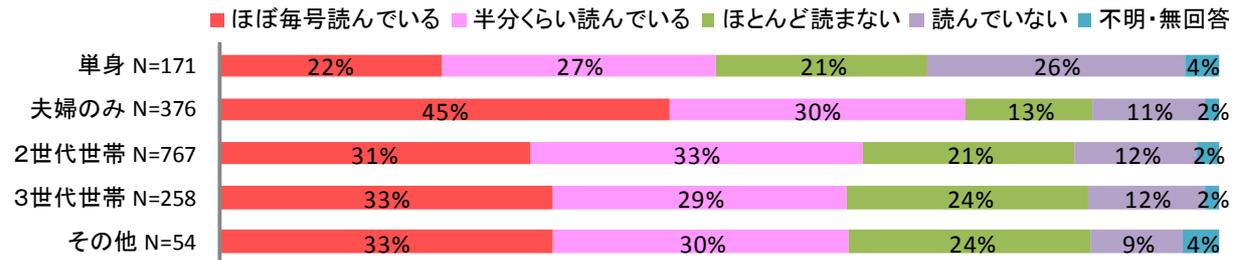
### 設問

【問8】「市報にいがた」・「区役所だより」を読んでいますか。（○は1つだけ）

- 家族構成別では、「夫婦のみ」の世帯が「ほぼ」「半分くらい」読んでいる人が75%と最も高い割合でした。「夫婦のみ」世帯の年齢別でみると、70～79歳代、80歳代以上の割合が90%を超えていました。また、18～39歳代の若年層は全体的に読んでいない割合が多くなっていますが、子育て世代と思われる「2世代世帯」では、他の家族構成と比べて読んでいる方の割合が多くなっていました。

### データ1

### 全体



### データ2

### 18～29歳代



### データ3

### 30～39歳代



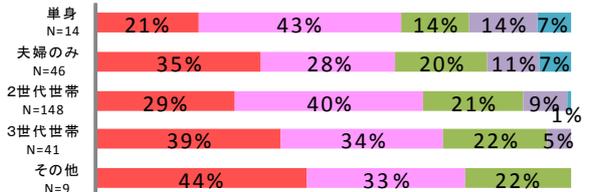
### データ4

### 40～49歳代



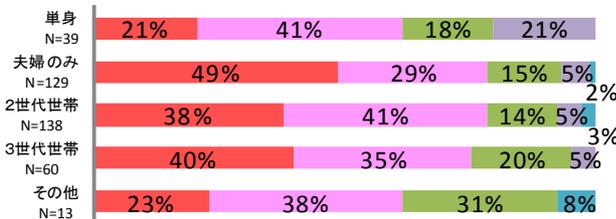
### データ5

### 50～59歳代



### データ6

### 60～69歳代



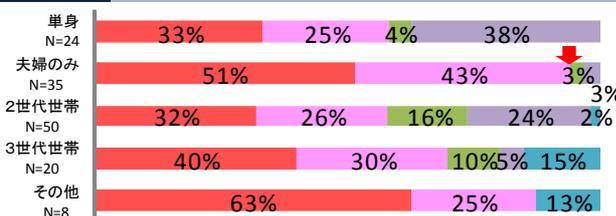
### データ7

### 70～79歳代



### データ8

### 80歳以上



## 望ましい「市報にいがた」の発行頻度は？（家族構成別）

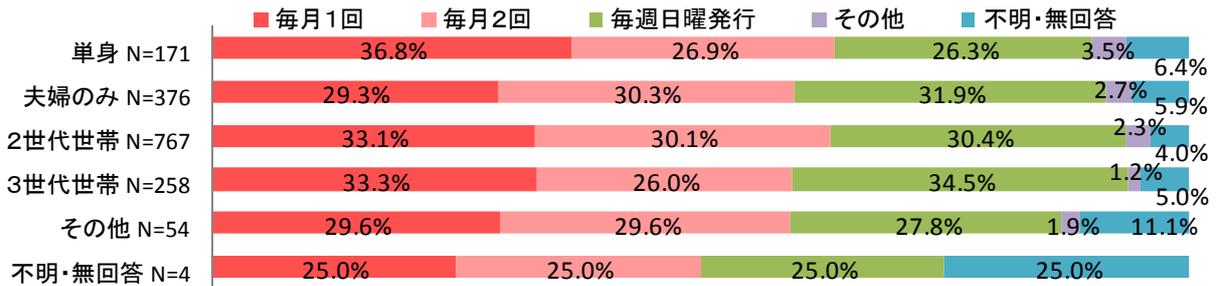
### 設問

【問23】「市報にいがた」・「区役所だより」は、どの回数で発行することが適当だと思いますか。それぞれ番号を1つ選んで○をつけてください。

- 家族構成に関わらず、「毎月1回」「毎月2回」の発行が適当であると思う方の割合が、半数を超えています。特によく読んでいる高齢世代でも、60～69歳代および70～79歳代では、「毎月1回」「毎月2回」の発行が適当であると思う方が5割を超えているなど、発行頻度にはこだわっていないようです。

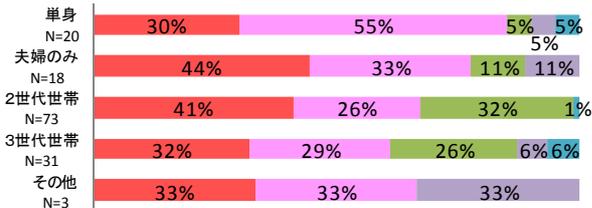
### データ1

### 全体



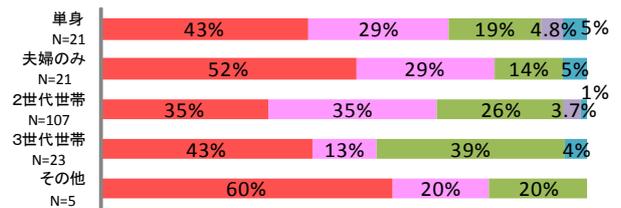
### データ2

### 18～29歳代



### データ3

### 30～39歳代



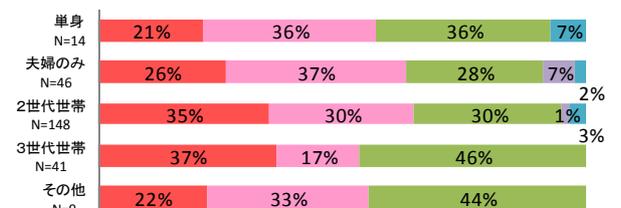
### データ4

### 40～49歳代



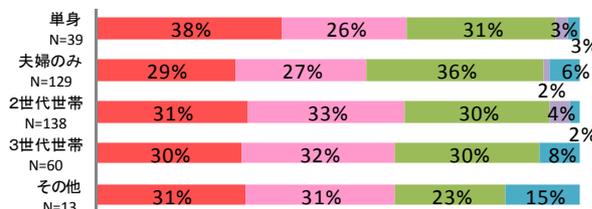
### データ5

### 50～59歳代



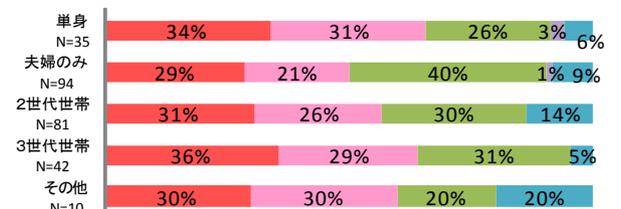
### データ6

### 60～69歳代



### データ7

### 70～79歳代



### データ8

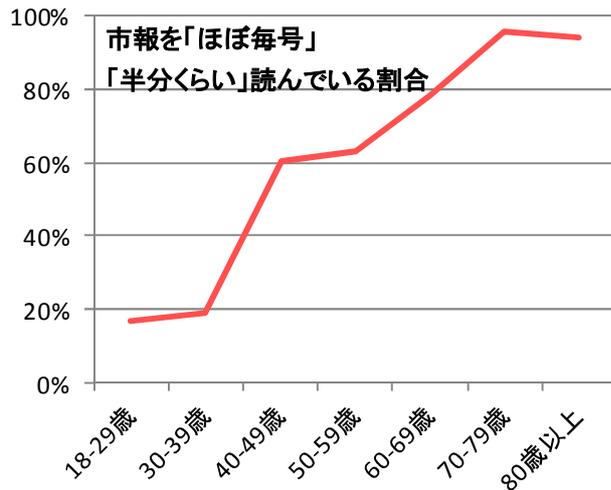
### 80歳以上



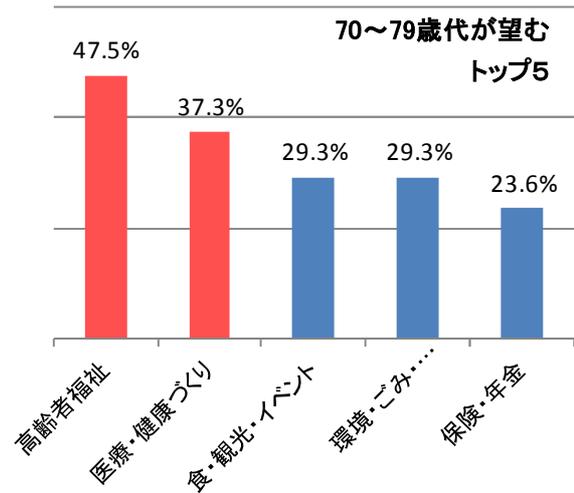
## 読書率が高い高齢世代

- 「夫婦のみ」世帯では、「ほぼ毎号」「半分くらい」読んでいる割合が特に多く、年代が高くなるほど多くなっています。また、高齢世代(70歳以上)が望む、市報にいがたで充実してほしいテーマは、「食・観光・イベント」を抜き、「高齢者福祉」「医療・健康づくり」が1位、2位となっています。

データ1 「夫婦のみ」世帯の年代別読書率



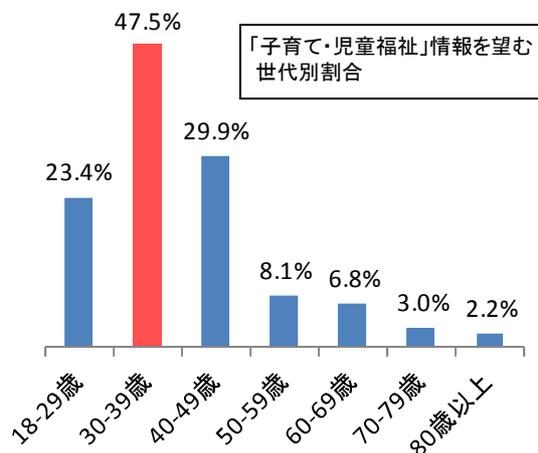
データ2 市報にいがたで充実してほしいテーマ



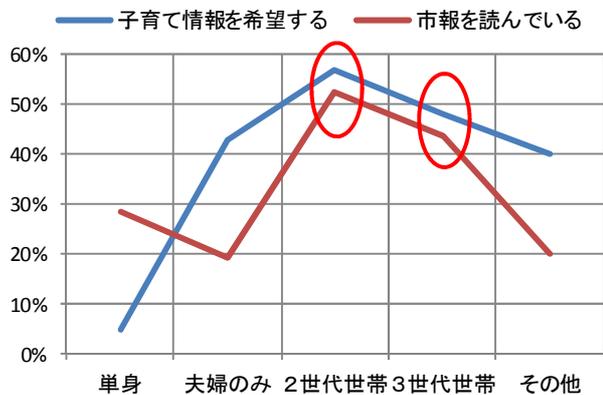
## 同世代の中で読書率が高くなっている30～39歳代の「2世代」「3世代」世帯

- 30～39歳代が望む「市報にいがた」「区役所だより」で充実してほしいテーマ(情報)の中で、「食・観光・イベント」に次ぎ、希望する割合が大きかったのが「子育て・児童福祉」で、他の世代と比較しても、一番望まれていることが分かります。市報を読んでいる方の割合も、同年代の中では高かったことから、子育て中の方が多くいることが推測されます。

データ3 市報にいがたで充実してほしいテーマ



データ4 30～39歳代の子育て情報と読書率



## どのような手段で市政情報を受け取りたいですか？(家族構成別)

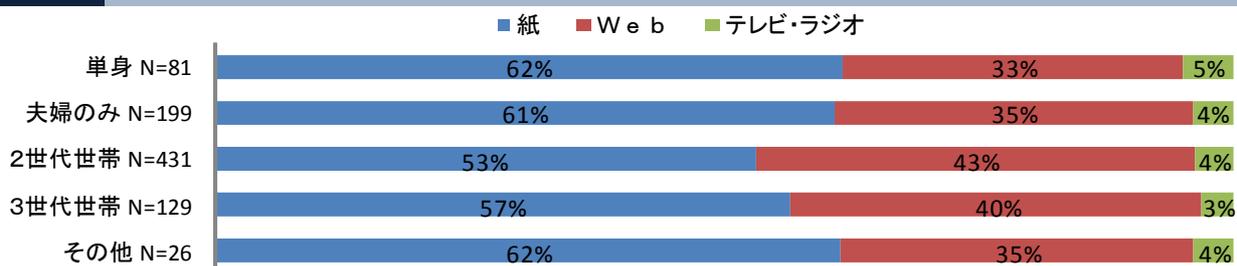
### 設問

【問24】あなたは、どのような手段で市政情報を受け取りたいですか。(自由記載)

- 全体では、全ての家族構成世帯において、「紙」での受け取りを希望する方の割合が半数を超えていましたが、世代別で見ると、若年層から高齢者層にかけて、「紙」を希望する方が多くなり、比例して「Web」で希望する方が少なくなっています。また、少数の「テレビ・ラジオ」は、特に70歳以上の方が希望されていました。  
なお、各世代における家族構成別の違いは、あまり見られませんでした。

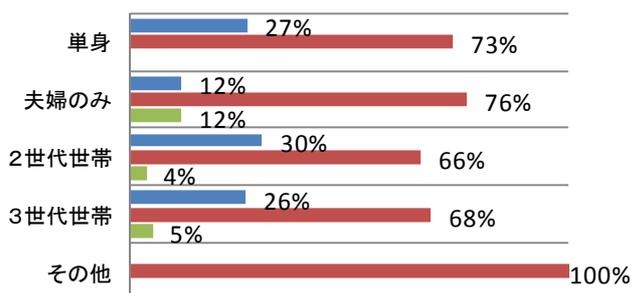
### データ1

### 全体



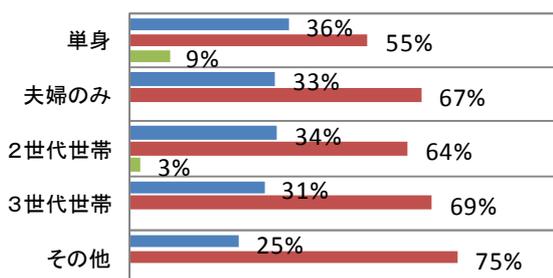
### データ2

### 18～29歳代



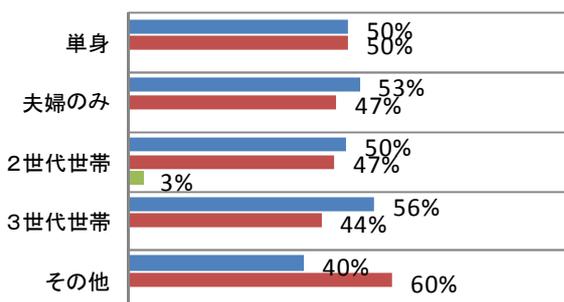
### データ3

### 30～39歳代



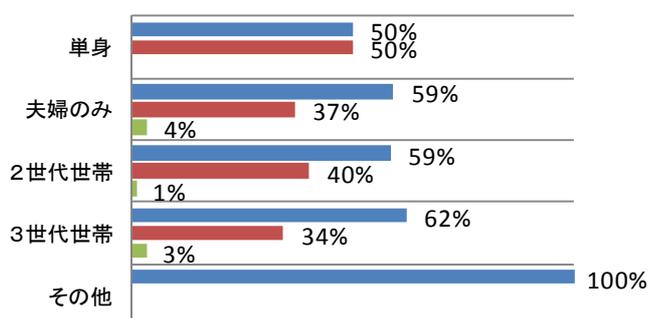
### データ4

### 40～49歳代



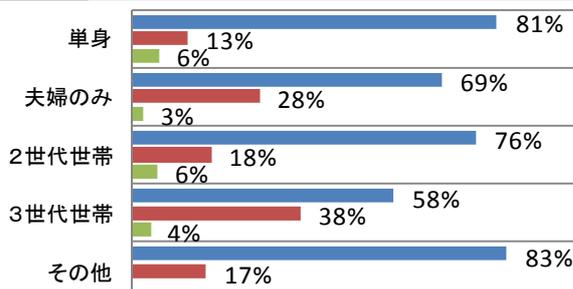
### データ5

### 50～59歳代



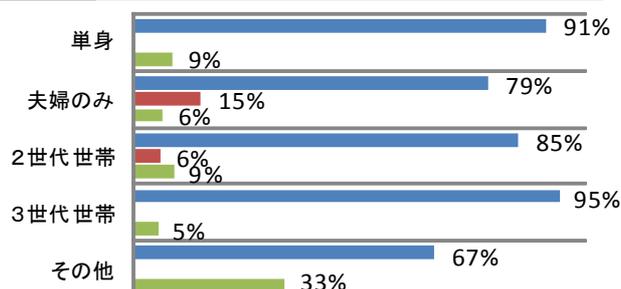
### データ6

### 60～69歳代



### データ7

### 70歳以上



## 「市報にいがた」への主なご意見

### 設 問

【問23】「市報にいがた」・「区役所だより」は、どの回数で発行することが適当だと思いますか。(選択肢『その他』の自由記載より)

【問24】あなたは、どのような手段で市政情報を受け取りたいですか。(自由記載)

【問25】広報全般についてのご意見(自由記載)

### 主なご意見(年代別)

#### (18～29歳)

- ・若者が興味を持てる市政情報を取り上げてほしい。
- ・子育ての情報やイベントをもっと掲載してほしい。
- ・文字を大きく、デザインや色を華やかにするなど、関心を引くようなレイアウトにして、もっと見やすく楽しく読めるようにしてほしい。

#### (30～39歳)

- ・自身の生活と市政が直結しておらず、興味につながらない。
- ・重要な情報(保育園入園申込、確定申告など)は紙媒体で、イベント等はホームページで受け取りたい。
- ・若い人でも見られるデザインするなど、インパクトがほしい。
- ・文字数が多すぎて、伝えたい内容が伝わってこない。
- ・地域の名所や歴史観光に関する連載記事等があれば、見るきっかけになるかもしれない。

#### (40～49歳)

- ・内容が固すぎる。若者に合わせ、批判を恐れずもっとポップに。
- ・子育て時は市報を見ていたが、現在はさほど必要ではない。今後、介護や老人福祉、年金、防災・防犯など気になることが出てくれば、以前のように読むと思う。
- ・広報紙の情報が多すぎて読む気になれない。掲載する情報は、厳選し、もっと少なくしてはどうか。
- ・子育て情報は、上半期単位などのカレンダーがあると便利だと思う。
- ・部門別、内容別などにするなど、もっと分かりやすい情報発信を。

#### (50～59歳)

- ・必要な記事がそれぞれの世帯で違うため、難しい点もあると思うが、必要な人へ必要な情報が届くようなシステムができないものか。
- ・もう少し読み物(情報誌)として内容のレイアウト、企画を考えて欲しい。
- ・発行を土曜日にして”今週のイベント”を掲載してほしい。
- ・「情報ひろば」に記載されている定期的な催事・講座等は数カ月分を記載してはどうか。紙面の工夫で発行回数が減るのなら、それでも良いと思う。
- ・毎週関心のあるテーマや必要な情報がいつもあるわけではないので、内容を充実させて発行回数を減らすのなら良いと思う。

#### (60～69歳)

- ・読者を誰と考えて編集しているか不明。
- ・全国から注目されるようなユニークで新しい市報を。
- ・子育て支援に関する情報が多いと感じる。子育て中の方は必要かと思うが、自分の世代(60歳代)にも関心の持てる内容を希望する。
- ・紙面の文字が小さくて読みにくい。毎回同じ構成ではなくて、時期に合ったトピックスを大きく取り扱うなど紙面内容の工夫を望む。
- ・発行回数は月2回でもいいので、その分写真やイラストを使用するなど内容を充実してほしい。
- ・目を引く記事、シリーズもの等を考えたらどうか。
- ・毎回、読んだ感想や質問事項等を募集しては。

#### (70歳以上)

- ・情報が多過ぎ、全て読めなくてスルーすることも。工夫して分かりやすいシンプルな広報を願う。
- ・情報の内容と質の向上に期待する。毎回同じ枠組みの中に記事を当てはめるのではなく、発行毎で一番市民が読みたい内容を、自由かつフレッシュで、型にとらわれない形で提供してほしい。
- ・お知らせの記事が多いが、高齢者が参加できるのが無いので読まない。地域の情報だけ読むので、ほかの地域の記事は不要。
- ・防犯、健康情報等が分かりやすく掲載されているとうれしい。